

# 平成28年度 発達障害者支援開発事業 成果物

## 1. 発達障害者就労訓練・生活支援事業

### ○ 利用者の活動状況

訓練時間 9:00～16:00 (休憩1時間)  
県庁内の各課から依頼される業務を受注し、様々な作業を経験させ、  
利用者の作業能力のアセスメントを行っている。

### (1) Aさん (20代男性) の活動状況

H28.11.18～ ワークステーションの利用開始 (利用終了: H29.3.31)  
県庁内 (ワークステーション内) や庁内各課、県立図書館等にて訓練実施  
企業見学 H28.5 佐賀衛研、佐賀記念病院、戸上電機  
企業実習の実績 H28.6.27～H28.7.8 スーパーモリナガ (青果のパック詰め、品出し)  
H28.7.19～H28.8.10 エヌケイフーズ (精肉加工のライン作業、出荷作業)  
H28.11.22～H28.12.20 新武雄病院 (医療器具の洗浄、手術道具の補充)  
⇒ 県庁内・企業実習の経験を積み、**一般就労** に結びつく

### (2) Bさん (20代男性) の活動状況

H29.1.5～ ワークステーションの利用開始 (利用終了: )  
県庁内 (ワークステーション内) や庁内各課、県立図書館等にて訓練実施  
県庁内実習 H29.3.1～ 文書室実習  
H29.3.13～ 図書館実習  
企業実習予定 H29.4.25～5.2 市民活動プラザ (清掃、新聞とじ)

# 1. 発達障害者就労訓練・生活支援事業

## ○ 利用者の活動状況

訓練時間 9:00～16:00（休憩1時間）

県庁内の各課から依頼される業務を受注し、様々な作業を経験させ、利用者の作業能力のアセスメントを行っている。

---

## (4)Dさん（20代男性）の活動状況

H27.4.6～ ワークステーションの体験利用開始予定

県庁内（ワークステーション内）や庁内各課、県立図書館等にて訓練実施予定

現在、事前ミーティング、アンケートを行い今後の支援計画を策定中。

# 1. 発達障害者就労訓練・生活支援事業

## ○ 利用者アンケートの結果まとめ（インターンシップ事業）

問 発達障害者インターンシップ事業を利用した感想を教えてください。

- ・ 初めて働く練習をすることで、今後就職するために経験を積んでいきたい、
- ・ ビジスマナーや作業などたくさんのことを学べた
- ・ 実際の職場の雰囲気作業するのはいい経験でした。
- ・ 仕事場の雰囲気がとても自分に合っていたし、自分のことを気遣ってくれる人たちがいてくれて働きやすかった。

問 実習期間は1週間でしたが、期間的にはどうでしたか。（長かった、短かった等）

- ・ ちょうどよかった（たくさんいい仕事できてよかった。）

（利用者の保護者からのコメント）

- ・ 今回の体験で少しでも社会を知ること、苦手な事こと知ることができ、作業する時に必要なこと、失敗体験、言葉の理解、思い込みにも気づいてくれたことだと思っています。  
5日間と短い体験でしたが、上手にできたことを褒めてもらえて嬉しかったようです。良い体験ができたこと感謝しています。
- ・ もっとたくさんの人に「発達障害者インターンシップ事業」を知ってもらい、数人で一緒にできたら、仲間も出来てよかったと思います。

## 2. 発達障害者余暇支援事業

### ○ 各回の活動状況と利用者の意識等の変化

回数	実施日	参加人数	実施内容
1	H28.4.23	7人	テーマトーク、Wiiゲーム
2	H28.5.21	7人	テーマトーク、カラオケ
3	H28.6.11	4人	フリートーク、お菓子作り
4	H28.7.16	6人	フリートーク、テーブルゲーム
5	H28.8.6	6人	カラオケ
6	H28.9.23	4人	テーブルゲーム
7	H28.10.29	5人	フリートーク、レクリエーションゲーム
8	H28.11.12	5人	カラオケ
9	H28.12.17	5人	近況報告、クリスマスパーティー
10	H29.1.14	6人	フリートーク、タコ無し焼きづくり
11	H29.2.4	6人	フリートーク、テーブルゲーム
12	H29.3.18	5人	カラオケ

### 支援スタッフの目から見た、利用者の意識の変化

- ・ 継続して参加している利用者が多いため、初めての参加者やスタッフに対して安心感が生まれ、自然な気遣いがみられるようになってきており、就労の場面でも応用できるスキルであると考えられる。
- ・ 余暇支援事業に参加する前と参加した後のストレスチェックの結果は、参加者のストレスを軽減する結果となっており、充実した休日過ごすことができていると考えられる。